

バイオ産業は関西における新産業創出の柱として位置付けられている。関西経済活性化の願いを込め、大阪、神戸、京都をはじめとする各都市でバイオ関連プロジェクトが推進されている。バイオ産業が関西の新ブランドとして根付くにはバイオベンチャー企業（VB）の集積、成長が欠かせない。遺伝子、たんぱく質分析、再生医療、予防医療など各分野で強みを持つ関西バイオVBの有効株に焦点を当てる。

# 新・関西ぶらんど バイオベンチャー最先端

【木曜日に掲載】

1

## 創 晶

創晶は製薬会社などを対象に各種の結晶化受託事業を手がける。大阪大学のプロジェクトから誕生しラボも阪大にある。結晶化の独自技術としてレーザーによる核発生、攪拌、二液法などがあり、難易度の高い結晶化に取り組んでいる。

たんぱく質や低分子の結晶化、共結晶（有機低分子とたんぱく質複合体）の用途は構造解析

が有機低分子では100%使用。結晶化実績は「たんぱく質で60-70%、まだ件数が少ないこともある

が有機低分子では100%」段階より製薬会社の投入資金が大きく事業収益面で期待できる。また製薬

## 難易度の高い結晶化に挑む

### 有機低分子は100%



▲……………（安達宏昭社長）という。最近ではたんぱく質結晶化の印象が強くなりすぎたため、今後はより薬に近い有機低分子の結晶化、共結晶化の認知度向上

▲……………（安達宏昭社長）という。最近ではたんぱく質結晶化の印象が強くなりすぎたため、今後はより薬に近い有機低分子の結晶化、共結晶化の認知度向上

▼本社 大阪府茨木市、06・6877・5659  
 ▼社長 安達宏昭氏  
 ▼設立 05年7月  
 ▼資本金 3305万円  
 ▼売上高 未定（06年6月）  
 ▼事業内容 結晶化受託、理化学機器の開発販売

日刊工業新聞 2006年2月2日（木） 23面

「新・関西ぶらんど/バイオベンチャー最先端（1）バイオマーカー、創晶」の記事より転載許可を受けて掲載。

本記事の著作権は日刊工業新聞に帰属します。

本記事の改変、他への転載は、これを一切禁じます。